

IAN RUSSELL

Founder and Disruptor

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Ian Russellは、南アフリカ最大のテクノロジー企業であるBCXのCEOで、売上高は20億ドル、従業員数は1万人でした。ラッセルの任期は、会社の集中的なリエンジニアリング、ビジネスのコアの簡素化、新しいテクノロジー機能の創造、そして革新と混乱へのブランドの大規模なシフトを見たことです。

これ以前は、イアンラッセルはExCoの一員であり、ターンアラウンドの中心にあったTelkomにいました。彼はTelkom事業全体のコストのあらゆる側面について説明責任を負っていました。調達、サプライチェーン、資産および人件費はすべて体系的に対処され、大きな効果をもたらしました。Telkom事業の復活は、この間のコストベースの変化に基づいていました。

Telkom以前は、SABMillerにおいて、南アフリカの国内事業からスイスを拠点とするグローバル事業への調達活動の移行を指揮していました。

ラッセルはパークレイズで8年間過ごし、オペレーション、調達、そしてテクノロジーの分野で働いていました。その中には、パークレイズアフリカのバックオフィスを運営し、コストリエンジニアリングへの世界初の「スマートソーシング」アプローチを生み出し、先導し、そしてパークレイズのグローバルCIOとして、彼をアブサに導いた役割が含まれていました。

Ian Russellは、2005年にパークレイズがAbsaを買収した最初のアーキテクトの1人でもあり、合併後の統合を監督および管理するために南アフリカに移住しました。Absa在職中は、主にコストベースのリエンジニアリングに焦点を当て、非常に革新的な「One Absa」プログラムを主導しました。

Topics

- Business
- Future
- Management
- Technology